

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 3次元血管内イメージング流体解析による血管内ずり応力と不安定冠動脈プラークの関係性</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)村田 伸弘</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2019年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> これまでの研究で、低い血管内ずり応力は冠動脈のプラーク形成を促進、高い血管内ずり応力はプラーク破綻を引き起こすことが示唆されています。急性冠症候群はプラーク形成、プラークの不安定化、プラーク破綻を経て発症しますが、プラーク破綻前の不安定なプラークと血管内ずり応力との関連性の関係はまだわかっておりません。本研究では当院で冠動脈造影 CT 施行後に虚血性心疾患の診断で心臓カテーテル治療、冠動脈内超音波を受けられた方の画像を解析し、血管内ずり応力と不安定プラークの関係性を検討します。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 患者様の病歴、血液検査、冠動脈造影 CT、心臓カテーテル検査、冠動脈内超音波などのデータを利用します。</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2011年 6月から西暦 2017年 7月の期間に虚血性心疾患の診断で冠動脈造影 CT と心臓カテーテル治療を受けられた方。</p>
<p><研究の方法> 西暦 2011年 6月から西暦 2017年 7月の期間に虚血性心疾患の診断で冠動脈造影 CT、心臓カテーテル治療を受けられた方の冠動脈 CT、冠動脈内超音波の画像を解析します。 なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者様のお名前や個人情報が明らかになることはございませんので、ご安心下さい。 本研究の対象となられる患者様で本研究にご賛同いただけない方は、下記の<お問合せ窓口>までご連絡下さい。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名:村田 伸弘 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8936</p>